

平成28年 5月30日

第22期

第20回 農業委員会総会

議 事 録

苫小牧市農業委員会

平成28年 5月30日午後2時、第20回苫小牧市農業委員会総会を市役所本庁舎9階91・92会議室において招集したが、出席した委員及び議事の内容は次のとおり。

委 員	今 泉 宏 治
	及 川 末 男
	亀 谷 正 司
	野 村 真理子
	工 藤 良 一
	五十嵐 堅 司
	黒 坂 章
	山 内 幸 子
	谷 口 隆 昌
	山 本 まり子
	丹 羽 秀 則

事務局	林 崎 局 長
	赤 松 主 査
	遠 藤 主 査
	阿 部 事務員

林崎局長 定刻となりましたので、ただいまから第20回苫小牧市農業委員会総会を開会いたします。本日は矢農委員・佐久間委員から所用のため欠席されるとの届けがありました。従いまして、本日の出席人数は11名で、在任いたします委員13名の過半数に達しておりますので、農業委員会会議規則第6条の規定により、会議が成立したことをご報告いたします。それでは、会長よりご挨拶をお願いいたします。

< 会長 挨拶 >

会長には引き続き農業委員会会議規則第4条の規定により会議の議長をお願いいたします。

会長 それでは、農業委員会会議規則第13条の規定による議事録の署名委員さんを指名させていただきます。11番谷口委員さん、12番山本委員さん、よろしくをお願いいたします。

これより、議案審議に入ります。

議案第1号「農地所有適格法人要件の確認について」事務局より説明してください。

赤松主査 議案第1号「農地所有適格法人要件の確認について」  
～議案書及び要件確認書を朗読し内容を説明。

会長 ただいまの議案第1号について、ご意見、ご質問はございませんか。

(各委員から「ありません」との声あり)

特に無いようですので、質疑を終了してよろしいですか。

(各委員から「はい」との声あり)

それでは、議案第1号については原案のとおりとすることとしてよろしいですか。

(各委員から「はい」との声あり)

それでは、議案第1号については、原案のとおり、可決いたしました。

次に、議案第2号「農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数について」事務局より説明をお願いします。

赤松主査 議案第2号「農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数について」  
～議案書を朗読し内容を説明。

会長 それでは、資料No.2の「新たな農業委員会制度」について、事務局長より説明をお願いします。

林崎局長 ～資料No.2「新たな農業委員会制度」を朗読し内容を説明。

会長 ただいまの議案第2号について、ご意見、ご質問はございませんか。

谷口委員 推進委員を置かなくていい市町村があると思いますが、現状苫小牧市は該当するののか。

林崎局長 最適化推進委員を置く、置かないは、担い手さん等に農地を集積している数字を昨年10月に国が発表しております、苫小牧市は推進委員を置かなければならない地区になっております。

計算方法は、分母が苫小牧市の全体の農地で、分子が担い手や認定農業者に農地を利用している面積となっております。

割算して70%以上になれば、最適化推進委員を置かなくていい市町村となります。

しかし、担い手や認定農業者じゃない方が利用している場合が多いと70%を下回ってしまいます。

亀谷委員 認定農業者が少ないということですか。

林崎局長 大きな理由は、■■■にあります■■■■■■の農地をどのように扱うかによります。

その他は認定農業者や人・農地プランの中心経営体の数も増えれば70%を超えるかと思えます。

現状は推進委員を置かなくてはなりません。

亀谷委員 苫小牧市はまだ任期ありますが、他は伊達市と登別市ですか。

林崎局長 はい。胆振管内では伊達市と登別市も同じで来年の7月までに決めなくてはなりません。

亀谷委員 苫小牧市は農業委員の定数について、半分にしなくてはならないことや、推進委員を決定することなど、地域性や全体の農業者の数などを全部精査することとなると思えます。

林崎局長 スケジュールは、平成28年度は選任手続きの条例の改正、定数、選出方法、平成29年度の6月議会には同意を求めなければならないこと。条例改正するために12月の議会に農業委員会の定数などの条例をあげなくてはなりません。

亀谷委員 農業委員会で定数を議論するタイムリミットはどのくらいありますか。議論のたたき台みたいなものを作る時間はあるののか。

林崎局長 タイムリミットは、8月または9月の農業委員会総会まで決定していただくこととなります。

洞爺湖町さんは11月から2ヶ月間で決定し、4月から始めています。

たたき台を作って議論というのと、総会で審議や小委員会を作るなどの手法がありますが、たたき台を作っての方がいいというのであれば、その

ようにします。

会 長

洞爺湖町は早く始まりましたが、安平町とむかわ町はそれに合わせて新しいシステムでやる。

亀谷委員

厚真や早来は70%超えていますか。

林崎局長

そうですね。

亀谷委員

苫小牧市は■■■■■■の面積の扱いですね。

林崎局長

現在、面積について北海道には伝えているところです。

会 長

■■■■■■は■■市にあるので、苫小牧市にとっては不在地主ですが、植苗で牧草を作っているので活動はしています。

五十嵐委員

今までの農業委員会システムが全国的に統一されたようですが、その地域で課題を持っているところで、農業委員や推進委員をどのように機能させるかを我々が考えて、都合のいいように決定したほうがいいのではないのか。

他の市町村は参考にして、苫小牧市ではこれからの将来の課題に対して農業委員や推進委員の定数を都合よく考えていけるように、臨機応変にいけるようにしたほうが、法改正の役割やメリットがあるような気がします。

樽前振興計画などで樽前地区をどうしていくか、真剣に考える体制を農業委員と推進委員が作り、植苗でも課題がでてきたら植苗で同じように、臨機応変に自分の地区で変えていけるというメリットを生かしていかなければならないと思う。

亀谷委員

樽前の振興計画については、色々な部署と農業委員会との繋がりをどうするかというのもあるし、地域と農業者との整合性もあると思うので、まずはたたき台を作っていただきたい。

会 長

定数は決められた範囲内で、問題は推進委員を何人置くかということです。認定農業者がそれなりにいないといつまでも推進委員を置かなくてはならない訳です。

五十嵐委員

必ずしも上限を守らないといけない訳ではないですよ。

林崎局長

はい。

会 長

農地を次の担い手にできるだけ売りなさいということと、認定農業者を増やさなければなりません。

一定の水準までいけば、推進委員を置かなくてもいいということです。

亀谷委員

厚真、早来は第一次産業が主体ですが、苫小牧市は工業地帯もあって全然違います。

認定農業者は何人いますか。

遠藤主査 今時点で認定農業者は22件です。

亀谷委員 公選から選任に変わりますが、推薦する委員会を作るのか、団体から推薦枠を作るのか。

林崎局長 団体からの枠を設けるのは適当ではないと資料には記載しております。

先程お話ありましたが、苫小牧市の農業委員数が13名で、農業委員さん1人当りの農地が98.5haで、農業委員さん1人当りの農業者数は4.9人です。

洞爺湖町は農業委員数が14名で、農業委員さん1人当りの農地が184haで、農業委員さん1人当りの農業者数は15.3人です。

また、安平町は法律の関係で、再来年の改正まで旧農業委員会でいきます。

亀谷委員 苫小牧市は来年の7月の農業委員改選前までに推進委員を決めなくてはならないのですね。

会長 条例に載せなければならないということです。

推進委員を置くので、全体的には定数は増えると思います。

五十嵐委員 農業委員と推進委員は兼務できないですか。

林崎局長 兼務はできません。

会長 その他にご意見、ご質問はございませんか。

(各委員から「ありません」との声あり)

特に無いようですので、質疑を終了してよろしいですか。

(各委員から「はい」との声あり)

それでは、議案第2号については、会長と職務代理者及び事務局職員で大まかなたたき台となる意見案を作成し、来月の総会でその意見案をもとにご協議していただくというようなこととします。

(各委員から「はい」との声あり)

次に、議案第3号「平成27年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価(案)並びに平成28年度の目標及びその達成に向けた活動計画(案)について」事務局より説明をお願いします。

赤松主査 「平成27年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価(案)並びに平成28年度の目標及びその達成に向けた活動計画(案)について」

～議案書を朗読し内容を説明。

会長 ただいまの議案第3号について、ご意見、ご質問はございませんか。

(各委員から「ありません」との声あり)

特に無いようですので、質疑を終了してよろしいですか。

(各委員から「はい」との声あり)

それでは、議案第3号については原案のとおりとすることとしてよろしいですか。

(各委員から「はい」との声あり)

それでは、議案第3号については、原案のとおり、可決いたしました。

次に、その他(1)「第21回農業委員会総会の開催について」事務局より説明をお願いします。

赤松主査

その他(1)「第21回農業委員会総会の開催について」

～開催予定日を報告

～6月22日(水)午後2時開催を決定。

会 長

その他、事務局から何かございませんか。

赤松主査

その他(2)「熊本地震の義援金の支出について」

～別紙No.3を朗読し内容を説明。

会 長

ただいまのその他(2)について、ご意見、ご質問はございませんか。

(各委員から「ありません」との声あり)

特に無いようですので、前回の東日本大震災の義援金と同じ取り扱いとし、委員1人1,000円の義援金を農友会より支出するということよろしいですか。

(各委員から「はい」との声あり)

その他、事務局から何かございませんか。

無いということですが、委員さんの方からは何かございますか。

(各委員から「ありません」との声あり)

無いようですので総会を閉じてよろしいですか。

(各委員から「はい」との声あり)

それでは第20回農業委員会総会を閉じさせていただきます。大変有難うございました。

(午後3時10分閉会)

以上、会議の顛末を記録し、後日に証するためここに署名捺印する。

議 長 印

委 員 印

委 員 印